

～平成23年度いわき市農林業賞受賞者決定～



【個人及び協業経営の部】大平 敏弘 様
【功 勞 の 部 】比佐 照雄 様

平成23年度いわき市農林業賞の表彰式が平成24年2月14日に行われました。

同賞は生産技術の向上や経営の改善を図るなど、いわき市の農林業の振興と発展に功績のあった個人・団体等を表彰するもので、今年度は個人及び協業経営の部で1名、功勞の部で1名が受賞されました。

受賞者を代表して大平さんが「今後も、震災と原子力災害の影響に負けることなく、地域農林業の復興と振興・発展に尽力していきたい」と、謝辞を述べました。



減農薬・減化学肥料栽培により「いわき産トマト」の品質向上及びブランド化の推進に寄与した。



大平 敏弘さん(54)

受賞理由

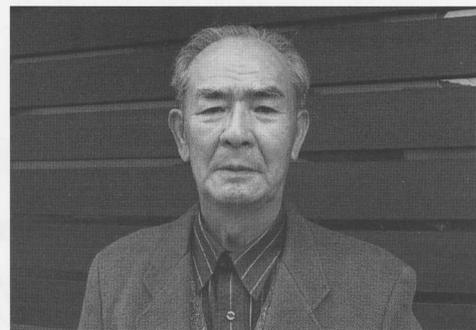
別栽培農産物」として認証され、その栽培技術を確立したことは、他の農業者の模範となっている。

「土づくり」を基本とした環境にやさしい農業への意欲的な取り組みは、「いわき産トマト」の品質向上及びブランド化の推進に寄与するなど、本市農業の発展に大きく貢献している。

また、これまでのトマト生産における実績が認められ、平成23年度からJAいわき市ハウス部会の副部会長に就任するなど、今後も本市の農業の振興・発展に貢献することが期待されている。

菊田施設園芸研究会の一員として、環境にやさしい栽培技術に取り組んでおり、減農薬・減化学肥料栽培により生産されたトマトは、平成14年に「福島県特

JAいわき市梨部会の役員を永年にわたり務め、「サンシャインいわき梨」の品質向上と部会の発展に貢献した。



比佐 照雄さん(81)

受賞理由

し、部会員全員がエコファーマーに認定されるなど、部会の発展に尽力している。

また、部会長及び梨選果場場長として5年以上活躍しており、円満な人格と優れた指導力により「サンシャインいわき梨」の名声を高め、部会の発展に大きく貢献している。

平成20年には、梨選果場場長として透過式光センサー選果機を導入し、「サンシャインいわき梨」の品質の向上を図ったほか、試験的に梨の輸出を実施し販路拡大に取り組むなど、産地ブランドの確立に功績をあげている。

平成13年からJAいわき市梨部会の役員を務めており、環境にやさしい農業を目指して、コンフューザー（交信攪乱剤）の導入による害虫防除を推進